

## メーリングリスト

### ■メーリングリストの新規登録

「メール」の「メーリングリスト」に進み、**新規追加**をクリックします。



### ➤ 基本設定

登録画面に必要事項を記入し、**保存**をクリックします。

※ 返信先（Reply-To）の任意のアドレス指定はできない仕様です。

①メーリングリスト名	メーリングリストの名称を入力します。 ※日本語入力可
②メーリングメールアドレス	<p>メーリングリストのメールアドレスを登録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>使用可能な文字:</b> a-z、0-9、ドット (.) ,ハイフン (-) ,アンダーバー ( _ )</li> <li>※ただし、先頭は a-z、0-9 のみ使用できます。</li> <li>✓ <b>使用可能な文字数 :</b> <b>最大 32 文字</b></li> </ul>
③管理用アドレスの転送先	<p>管理用メールアドレスに送られたメールを転送するメールアドレスです。</p> <p><b>お客さまドメイン内の実メールアドレスを指定</b>してください。</p> <p>※ヴァーチャルメールアドレスや、ほかのメーリングリストのアドレスは使用できません。</p>
④インフォメーションの言語	メーリングリスト参加・コマンドを送信した際に送られてくる案内メールの言語が表示されます。
⑤コマンド送信できるユーザー	<p>メーリングリストに対して、コマンドを送信できるユーザーを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>誰でも :</b> 誰でも任意に ML 参加のコマンドなどを送信できます。</li> <li>➤ <b>モデレーターのみ :</b> 管理者の承認なしには参加できないようにします。</li> </ul> <p><b>【メーリングリストで利用可能なコマンド】</b></p> <p>「メール」から「メーリングリスト」に進み、対象メーリングリスト右側の編集をクリックし、拡張設定「help (ML のヘルプ)」の枠内のテキスト「3.1 情報の取り寄せ・基本的なコマンド」の箇所からご確認いただけます。</p>
⑥投稿できるユーザー	<p>メーリングリストに対して、メール（記事）の投稿ができるユーザーを選択します。</p> <p>通常は「メンバーのみ」に設定 し、メーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。</p> <p>メンバー全体に対してダイレクトメール配信を目的にする場合には、「モデレーターのみ」に設定 し、勝手に投稿されないようにします。</p>
⑦受信可能サイズ	<p>メーリングリストに投稿可能なメールのサイズを KB 単位で設定します。</p> <p>通常のテキストメール程度であれば、50～100 KB 程度で十分です。</p> <p><b>最大で 10,000KB まで受信可能</b>です。</p>
⑧その他設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>Subject:に通し番号を付ける</b> このオプションを有効にすると、投稿メールの表題に自動的に番号が入ります。例えば、メーリングリストアドレスが abc@お客さまドメイン名だった場合には、[abc 1] テストのようになります。</li> <li>➤ <b>コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す</b> このオプションを有効にすると、コマンド送信を許可されていないユーザーからのコマンドを拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。</li> <li>➤ <b>投稿を受信拒否した場合にエラーを返す</b> このオプションを有効にすると、投稿を許可されていないユーザーからの投稿を拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。</li> </ul>

## ➤ メンバー登録

メーリングリストのメンバーを下記のいずれか方法で登録できます。

- CSV一括登録：CSV ファイルのアップロード形式（メールアドレスをカンマ区切りで記載）
- テキスト一括登録：枠内にメールアドレスを記入形式（メールアドレスを 1 行ずつ記載）

なお、メーリングリストに参加したメンバーへ、メーリングリストの welcome メールを送信する場合は、「welcome メール」の箇所にある「新規メンバーに welcome メールを送信する」にチェックをいれてください。

## ➤ 拡張設定

基本設定の「コマンド送信できるユーザー」「投稿できるユーザー」でモデレーターを選択した場合、モデレーターのメールアドレスを登録します。すべての入力が完了したら **保存** をクリックして登録完了です。

<p>① <b>モデレーターの設定</b></p>	<p>メーリングリストの基本設定で、「コマンド送信できるユーザー」「投稿できるユーザー」に「モデレーターのみ」を選択した場合に設定します。</p> <p>送信されたコマンドおよび投稿されたメールはモデレーターへ送信され、モデレーターが承認した場合のみ処理されます。</p>
<p>② <b>通し番号</b></p>	<p>メーリングリストの基本設定で、「Subject に通し番号を付ける」設定をしている場合に有効です。</p> <p>メーリングリストにメールが投稿される度に 1 が加算されていきます。この数値を任意に編集することが可能です。</p>

③ メッセージの編集

confirm (登録確認)  
\*\*\* Confirmation (登録の確認) \*\*\*

deny (投稿拒否)  
あなたはこのメーリングリスト <%ML\_ACCOUNT%@example.com> のメンバーではありません。

guide (MLのガイド)  
メーリングリストの一般向けガイド(参加者及び非参加者向け)

help (MLのヘルプ)  
%ML\_ACCOUNT%@example.com メーリングリストの使い方について

objective (MLの目的)  
このメーリングリスト <%ML\_ACCOUNT%@example.com> の目的は … です。

welcome (登録時の挨拶)  
<%ML\_ACCOUNT%@example.com> メーリングリストへようこそ!

キャンセル 保存

③メッセージの編集	<b>confirm(登録確認)</b>	<p>ユーザーが参加を希望する場合に、本当に参加するのかどうかを確認するためのメッセージです。</p> <p>fml では、セキュリティの都合上、一度 <b>subscribe</b> コマンドを送信しても、即座にはメンバーになりません。</p> <p>再度ユーザーの参加意志を確認します。</p>
	<b>deny (投稿拒否)</b>	<p>ユーザーが、メーリングリストのメンバーでなく、コマンドや投稿が拒否された場合に返すエラーの文章を記述します。</p>
	<b>guide (ML のガイド)</b>	<p>メーリングリストの簡単な案内を記述します。</p>
	<b>help (ML のヘルプ)</b>	<p>メーリングリストのコマンドリファレンス等のヘルプを記述します。</p> <p>通常はデフォルトのまま使用します。</p>
	<b>objective (ML の目的)</b>	<p>メーリングリストの話題の中心になる、メーリングリストの目的を記述します。</p>
	<b>welcome (登録時の挨拶)</b>	<p>ユーザーがメーリングリストに参加した際に送信される歓迎の文章を記述します。</p>

## ■メーリングリスト一覧

左メニュー「メール」から、「メーリングリスト」のタブを開くと、登録しているメーリングリストの一覧が表示されます。



①削除	削除するメーリングリストにチェックを入れると <b>削除</b> ボタンが表示されます。
②メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前が表示されます。
③メーリングリストアドレス	登録されているメーリングリストのアドレスが表示されます。
④メンバー数	メーリングリストのメンバー登録数と登録可能な最大数が表示されます。
⑤編集	メーリングリストの設定変更画面に進みます。
⑥メーリングリスト数	ご利用中のメーリングアドレスと利用可能なメーリングアドレス数が表示されています。

## ■メーリングリストの編集

登録してあるメーリングリストのメンバー編集や各種設定の変更が行えます。

メーリングリスト右側の **編集** をクリックし、各項目を編集後、**保存** をクリックします。

各項目の説明につきましては、メーリングリストの新規登録の項目をご参照ください。



## ■メーリングリストの削除

「メール」から「メーリングリスト」に進み、削除対象のメーリングリストにチェックを入れ、**削除** をクリックします。



確認画面が表示されますので、確認の上、**削除** をクリックして削除完了です。